

## CARECO 特設サイトのご案内

# www.c.ecohotline.com

特設サイトではCSRレポートを**無料**で請求できます。  
請求から5日前後でお届けいたします!

### 💡 特設サイトのポイント

**一括請求**  
請求可能企業を一覧で表示。  
一括でご請求ができます。

**業種別表示**  
業種別で表示。希望する業種の  
企業が一目で分かります。



CSRレポートの請求以外にも、過去のCARECOで掲載した企業のCSR担当者へのインタビュー記事や実際にCSRレポートを活用した大学生の声など就職活動に活用できるコンテンツを掲載しています。

### CSR推進企業評価チェックシート <就活版>

- 企業のCSR推進度をチェックできるCARECOオリジナルのチェックシート(B4判)を冊子に挟み込んでいます。
- CSRレポートを使って企業研究をする際の参考になるよう、CSRに関する4つのテーマと21の課題を独自に抽出し、テーマごとに10のチェック項目を設けました。
- 上記特設サイトには、各チェック項目の詳しい背景情報や、CSR専門用語の解説などを掲載していますので、併せてご覧いただくと理解がさらに深まります。

※ 発送は飛脚メール便にて通常、5日前後(土日祝日を除き)でお届けいたします。  
ただし、発送時期や諸事情により到着までに一週間程度がかかる場合やレポートの在庫の関係でお届けできない場合がございます。あらかじめご了承くださいませようお願い申し上げます。



発行：株式会社ハートウェイ  
〒530-0001 大阪市北区梅田1-11-4-1118 TEL 06-4797-7281 FAX 06-4797-7288  
レポートの発送、エコほっとラインへのお問い合わせは 有限会社インフォワード(TEL 06-6471-8800)まで

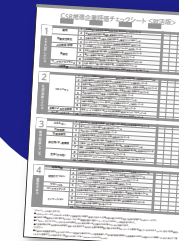
# CARECO

「キャリア」+「エコ」で就職活動をデザインする。

VOL.4

企業研究に使える

オリジナルチェックシートを同封!  
詳しくは裏表紙へ



### 巻頭インタビュー

## CSRレポートで “企業の意思”を読み取る

大阪市立大学  
大学運営本部就職担当課長 大島 禎氏

### 特集

そもそもCSRって何? /  
CSRレポートで何がわかるの? /  
CSR就活体験談

### 特集

CSRレポートのココに注目!  
-従業員ページ編-

194企業の  
CSRレポートがスグに請求できる!

しかも  
無料



# CSRLレポートで “企業の意思”を読み取る

企業の環境配慮活動やCSR(企業の社会的責任)に注目し、会社を選ぶ際の参考に就活学生が年々増えている。CSRLレポートを活用し、企業の実態を多角的に検討することで、業界・企業研究や志望動機の作成などに役立っているという。

その一方で、デフレ経済の建て直しが遅々として進まず、企業の採用状況も厳しく推移する中、CSRLレポートをどのように活用すれば就活により効果的なのだろうか。民間企業での企画・人事・総務の経験を生かし、学生の就活指導にあたっている大阪市立大学の**大島禎氏**にそのあたりのことを伺った。



## Interviewee

大阪市立大学  
大学運営本部就職担当課長

**大島 禎 氏**

インタビュー日: 2012年9月4日

## CSRは企業のことを 知るための大切な視点

—CSRを就活の新たな評価軸にする動きがありますが、  
企業経営においてなぜCSRが重要なのでしょうか。

個人に置き換えて考えてみます。職業が成り立つには①経済的自立 ②自己実現(やりがい) ③社会的役割の三つの要素<sup>\*</sup>が必要だといわれています。これらの要素すべてが満たされてこそ、人は働くことに喜びを感じるのですが、企業活動も考え方は同じです。どの要素が一つ欠けただけでも、企業として長期間存続することは難しいでしょう。

企業は、社会やステークホルダーからの「期待像」に対し、自らが果たすべき社会的役割を「理想像」として設定します。そして、その「理想像」と「現実」とのギャップを埋めていくために経営計画を立てて実行していきます。

一方、社会やステークホルダーは企業の実績を評価し、見つかった課題に対して企業との対話を重ねます。

この繰り返しがお互いに信頼を生み、企業の持続的な発展につながっていきます。これがCSRであり、就活で企業のことを知る上での大切な視点になります。

※日本労働研究機構(現 独立行政法人 労働政策研究・研修機構)編  
「職業ハンドブック」より

—企業研究をする際、具体的にCSRをどう活用すれば  
いいのでしょうか。

企業のことを知るためにはCSRLレポートに目を通すのが有効ですが、私はその前にまず、有価証券報告書(以下、有報)を見るべきだと学生たちに指導しています。有報は、企業のあらゆる数値に着目する定量と、特性に着目する定性、両方の分析ができる極めて優れたツールで、データを複合的、かつ時系列に見ることでさまざまな情報を得ることができます。また、「対処すべき課題」「事業等のリスク」「研究開発活動」をチェックすることで、企業の“これから”、つまり学生が入社した後の企業の方向性をある程度把握することができます。

ただ、有報は提出されたフォーマットが同じであるた

め、企業間の比較を行いやすいというメリットはあるものの、堅苦しい文章の羅列ですから、企業のイメージが少しつかみにくいかもかもしれません。その点CSRLレポートは、有報の内容を補完し、より分かりやすく編集されていますので、“企業の意思”を読み取りやすいと考えます。

## 業界を問わず横断的に 読んでいく

—CSRLレポートでは特にどのコンテンツが重要でしょうか。

コンテンツの中で真っ先に読んでほしいのは、経営者自らが経営方針について語った「トップコミットメント」です。さまざまな事業活動の中で、今年度は特にどの活動を重点的に行うのか、3~5年後の中期的展望をどう考えているのかなど、このページから読み取れる情報は重要なことばかりです。

—読み方に何かコツのようなものはありますか。

私はできるだけ多くのCSRLレポートを業界にとらわれず横断的に読むことを勧めています。毎朝の通勤電車の中では、多くのビジネスマンが経済新聞などを読んでいる姿を目にしますが、限られた時間ですべての情報にこと細かく目を通してはなりません。例えば、見出しだけでも毎日流し読みを続けていると、あるとき情報と情報がつながり出し、ビジネスのヒントになります。継続的にさまざまな情報を収集し、蓄積していくことが大切なのです。

CSRLレポートも同様で、はじめから業種を限定せずいろいろな企業を見ていく。すると、業界が違って同じような課題を抱えていたり、解決へのアプローチもそれぞれの強みを生かしたものであったりと、違いが理解できるようになってきます。

## “自責化”で働く意欲を アピールする

—そうした気付きが志望動機を考えるときに役立つ  
のでしょうか。

私はそう考えています。志望動機で伝えなければなら

ないのは就職したい意志ではなく、働く意欲です。現在、問題となっている「就活でのミスマッチ」を引き起こしている一因は、「就職すること」「採用内定をもらうこと」が目的になっていることです。就職はゴールではなくスタート。肝心なのは就職した後です。

CSRLレポートには、社員として知っておくべき情報が書かれていますので、それらを通して見えてきた企業の課題をネガティブにとらえて批判する「評論家」のような考え方ではなく、むしろ、企業がより成長する可能性と捉えて、「実践者」としてどう対処するのかを考え、「自分が入社したら御社のこの課題をこういうやり方で解決し、世の中に貢献します」とアピールできれば、採用担当者の目にも留まるはずです。

—では最後に、就活学生へのアドバイスをお願いします。

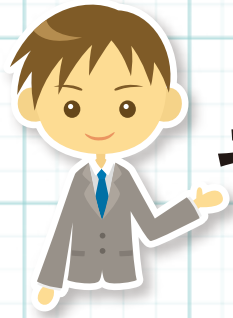
私は学生に対し、プロフェッショナルとして仕事を行っていくには、“自責化”するWILL(意思)と“論理化”するSKILL(技術)が大切だと話しています。困難にぶつかっても周囲の環境や他人のせいにするのではなく、当事者意識を持って考え行動することができる自責化と、アウトプットを意識しながら情報をインプットし、物事を整理することができる論理化。志望動機を組み立てる上でも、また面接に臨む上でも必要になる能力です。この二つを実践できれば、就活でも良い結果は必ずついてきます。健闘をお祈りします。

## Profile: 大島 禎(おおしま・ただし)



1960年2月、大阪府生まれ。私立大学でバブル期から崩壊後の「就職氷河期」に就職支援業務に携わる。日本の人事制度の転換期にあってさまざまな社員研修プログラムを研究、独自の指導プログラムを実践した。その経験を生かし、民間企業に転職。企画・人事・総務部長を歴任し、ビジネスの第一線を経験する。2007年4月から現職。





## そもそもCSRって何？

### Q. CSRとは何ですか？

CSRとはCorporate Social Responsibilityの略称で、一般的には「企業の社会的責任」と訳されている。企業は売上や利益を追求するだけでなく、地球環境、雇用、生産地の人権・労働問題など、さまざまな社

会的課題に配慮する責任があるとする考え方で、急速なグローバル化を背景に1990年代後半、欧州で生まれた概念だといわれている。

### Q. 企業はなぜCSRに取り組むのですか？

持続可能な社会を実現するための手段として、CSRの推進がもっとも効果的だと考えられている。20世紀は世界人口が急激に増加し、大量生産・大量消費・大量廃棄が行われた。その結果、食料危機や水不足問題、天然資源の枯渇、環境汚染、地球温暖化など、さま

ざまな問題が山積み、もはや国家だけの力では解決が難しくなってしまった。そこで、グローバル化により社会に与える影響力が増大した企業にこうした問題の解決を期待し、企業がそれに応えることが求められるようになった。

### Q. CSRでは具体的に何をやるのですか？

企業がCSRを進める上で重要なことが二つある。一つは、事業活動の経済的側面だけでなく、環境的側面、社会的側面にも配慮した事業計画を立て実行すること。もう一つは、企業とかわりのあるステークホルダー（利害関係者）と対話を行い、その声に応えていく

こと。つまり、企業は自分たちのことだけ考えて経営をしてはいけないし、社会の声にしっかりと耳を傾け、事業活動を通して社会的課題の解決に力を尽くすことが大切なのである。

### Q. ステークホルダー（利害関係者）とは何ですか？

ステークホルダー（stakeholder）を直訳すると利害関係者となるが、もともとは権利を主張する、利害関係を有する個人または集団などを指す言葉だ。具体的には、従業員、取引先、株主・投資家、顧客・消費者、NGO・NPOなどがその代表としてあげられる。企業は、

こうしたステークホルダーが自社に対して何を期待しているのかを探る必要があり、そのための手段としてステークホルダー・ダイアログと呼ばれる直接対話が盛んに行われている。



## CSRレポートで何がわかるの？

### Q. CSRレポートとは何ですか？

CSRに対する企業の考え方や目標、活動実績などをまとめ毎年発行している報告書のこと。冊子などの紙媒体を中心に、WebサイトやPDFダウンロードによる

情報発信が一般的だ。CSRレポートを発行している日本企業は現在1,000社を超えており、その数は増え続けている。

### Q. 会社案内とはどのように違うのですか？

会社案内は、会社概要、事業内容、沿革など会社の基本的な情報を掲載した、いわば“会社の顔”として発行するもので、自社がアピールしたいこと、知ってほしいことをまとめた広報物だ。これに対しCSRレポート

は、持続可能な社会をつくるために自社は何ができるのか、これから何をしようとしているのか、そして今年1年間何をやってきたのかをまとめたもので、“会社の実態”がある程度分かる媒体だといえる。

### Q. CSRレポートには何が書かれているのですか？

CSRレポートには次のようなコンテンツが掲載されている。(1)会社概要・事業内容 (2)CSRの考え方 (3)トップコミットメント (4)特集(重要課題) (5)企業理念、コーポレート・ガバナンス、リスクマネジメントなど経営に関すること (6)ステークホルダーとのかわり (7)環境への配慮 (8)社会貢献活動 (9)ス

テークホルダー・ダイアログなど社内外との対話 (10)第三者の意見・検証など。近年は、冊子での報告をダイジェスト的な内容とし、Webサイトですべての情報を報告したり、特定のステークホルダーに対する冊子を発行したりするなど、各社さまざまな編集方針が立てられている。

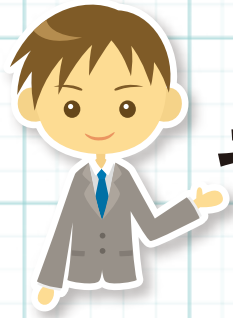
先輩からの  
アドバイス



### CSR就活体験談

井阪 仁美 さん  
武庫川女子大学 文学部

私は、志望する企業の条件の一つに、環境への配慮や社会貢献に取り組んでいる点を挙げ、CSRレポートを読む際は、これらの取り組みが同じ業界の中でも企業ごとに違う点に注目しました。エントリーシートの作成や面接を受ける以前に、他の就活学生と同じ土俵の上に立つためには、企業が自ら発信している情報に目を通しておくことが最低限必要だと考えます。



## そもそもCSRって何？

### Q. CSRとは何ですか？

CSRとはCorporate Social Responsibilityの略称で、一般的には「企業の社会的責任」と訳されている。企業は売上や利益を追求するだけでなく、地球環境、雇用、生産地の人権・労働問題など、さまざまな社

会的課題に配慮する責任があるとする考え方で、急速なグローバル化を背景に1990年代後半、欧州で生まれた概念だといわれている。

### Q. 企業はなぜCSRに取り組むのですか？

持続可能な社会を実現するための手段として、CSRの推進がもっとも効果的だと考えられている。20世紀は世界人口が急激に増加し、大量生産・大量消費・大量廃棄が行われた。その結果、食料危機や水不足問題、天然資源の枯渇、環境汚染、地球温暖化など、さま

ざまな問題が山積み、もはや国家だけの力では解決が難しくなってしまった。そこで、グローバル化により社会に与える影響力が増大した企業にこうした問題の解決を期待し、企業がそれに応えることが求められるようになった。

### Q. CSRでは具体的に何をやるのですか？

企業がCSRを進める上で重要なことが二つある。一つは、事業活動の経済的側面だけでなく、環境的側面、社会的側面にも配慮した事業計画を立て実行すること。もう一つは、企業とかわりのあるステークホルダー（利害関係者）と対話を行い、その声に応えていく

こと。つまり、企業は自分たちのことだけ考えて経営をしてはいけないし、社会の声にしっかりと耳を傾け、事業活動を通して社会的課題の解決に力を尽くすことが大切なのである。

### Q. ステークホルダー（利害関係者）とは何ですか？

ステークホルダー（stakeholder）を直訳すると利害関係者となるが、もともとは権利を主張する、利害関係を有する個人または集団などを指す言葉だ。具体的には、従業員、取引先、株主・投資家、顧客・消費者、NGO・NPOなどがその代表としてあげられる。企業は、

こうしたステークホルダーが自社に対して何を期待しているのかを探る必要があり、そのための手段としてステークホルダー・ダイアログと呼ばれる直接対話が盛んに行われている。



## CSRレポートで何がわかるの？

### Q. CSRレポートとは何ですか？

CSRに対する企業の考え方や目標、活動実績などをまとめ毎年発行している報告書のこと。冊子などの紙媒体を中心に、WebサイトやPDFダウンロードによる

情報発信が一般的だ。CSRレポートを発行している日本企業は現在1,000社を超えており、その数は増え続けている。

### Q. 会社案内とはどのように違うのですか？

会社案内は、会社概要、事業内容、沿革など会社の基本的な情報を掲載した、いわば“会社の顔”として発行するもので、自社がアピールしたいこと、知ってほしいことをまとめた広報物だ。これに対しCSRレポート

は、持続可能な社会をつくるために自社は何ができるのか、これから何をしようとしているのか、そして今年1年間何をやってきたのかをまとめたもので、“会社の実態”がある程度分かる媒体だといえる。

### Q. CSRレポートには何が書かれているのですか？

CSRレポートには次のようなコンテンツが掲載されている。(1)会社概要・事業内容 (2)CSRの考え方 (3)トップコミットメント (4)特集(重要課題) (5)企業理念、コーポレート・ガバナンス、リスクマネジメントなど経営に関すること (6)ステークホルダーとのかわり (7)環境への配慮 (8)社会貢献活動 (9)ス

テークホルダー・ダイアログなど社内外との対話 (10)第三者の意見・検証など。近年は、冊子での報告をダイジェスト的な内容とし、Webサイトですべての情報を報告したり、特定のステークホルダーに対する冊子を発行したりするなど、各社さまざまな編集方針が立てられている。

先輩からの  
アドバイス



### CSR就活体験談

井阪 仁美 さん  
武庫川女子大学 文学部

私は、志望する企業の条件の一つに、環境への配慮や社会貢献に取り組んでいる点を挙げ、CSRレポートを読む際は、これらの取り組みが同じ業界の中でも企業ごとに違う点に注目しました。エントリーシートの作成や面接を受ける以前に、他の就活学生と同じ土俵の上に立つためには、企業が自ら発信している情報に目を通しておくことが最低限必要だと考えます。



# CSRレポートのココに注目!

-従業員ページ編-



CSRレポートの注目ポイントを紹介する「CSRレポートのココに注目!」。2回目となる今回は、学生アンケートの声でも多かった「従業員」のページに焦点を当てる。従業員ページでは、雇用に関することをはじめ、労働安全衛生、人材育成、多様性(ダイバーシティ)、ワーク・ライフ・バランスなどにかかわる取り組みやデータが開示されている。今回はこれらのカテゴリーから下記5つの項目を取り上げ、編集部が独自に各企業の報告状況を比較してみた。

## 【CARECO編集部が今回チェックした5つの項目】

- ① 人材育成・研修制度
- ② 女性の活躍支援
- ③ 育児・介護
- ④ 福利厚生
- ⑤ 時間外労働の管理



## 人材育成・研修制度



### ● 田辺三菱製薬

この冊子の請求番号 013

ローテーションシステム、目標管理制度、研修プログラムの3つの視点から、社員が能力を最大限に発揮できるようサポートしている。2011年度からは、次世代リーダー育成プログラムやグローバル人材育成プログラムがスタート。人材の採用から育成を一貫して行うため、「人材育成部」を発足させている。

### ● デイリーヤマザキ

この冊子の請求番号 029

入社から3年目までの間に、社員が自ら考え実行し、責任を持ってやり遂げる力を身につけられるよう定期的にフォロー研修を実施している。入社後すぐに直営店勤務となるため、社員が孤立感や疎外感を抱かないようきめ細かくフォロー研修を行っており、離職率の改善に貢献している。

### ● マツダ

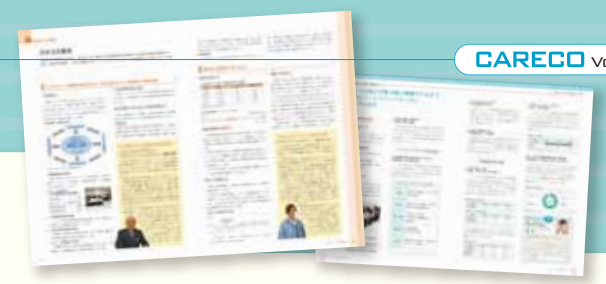
この冊子の請求番号 021

開発から生産までの知識と経験を備えたエンジニアを育成し、次世代商品の開発力を高めることを目的に、生産部門の技術系新入社員全員を開発部門に約3年間配属する人材育成プログラムを2008年から実施している。

※レビューした企業は、エコほっとライン企業一覧の中から無作為に抽出しています。  
 ※レビューの範囲は冊子での報告のみを対象としています。  
 ※レビューに対する問い合わせには応じられませんので、悪しからずご了承ください。



## 女性の活躍支援



### ● 熊谷組

この冊子の請求番号 001

多様な人材による新しい価値、幅広くかつ高い質の労働力の確保、女性が活躍することで生まれる生産性の向上などを目的とした「ポジティブアクション」を推進している。女性の新卒採用の比率が2006年度の19%から、2011年度は35%に上昇。女性管理職は現在6名在籍している。

### ● 中外製薬

この冊子の請求番号 014

性別や年齢、国籍も含め、多様な価値観を持った従業員一人ひとりが生き生きと働き、新しい価値を生み出すための「ダイバーシティの推進」を経営の重要課題と位置づけている。最も身近な「性別による多様性:ジェンダー・ダイバーシティ」の推進から取り組みを開始。社長をオーナーとしたマネジメントワーキングチームを結成し、意識調査結果の共有や議論を重ねたり、フォーラムを開催したりしている。

### ● プリマハム

この冊子の請求番号 009

商品の企画・開発、営業、品質管理部門など、女性が活躍している職場が多々あり、2012年度は5名の女性従業員が現場の中核となる係長に昇進している。



## 育児・介護



### ● セイコーインスツル

この冊子の請求番号 022

仕事と家庭生活との両立を支援するためのさまざまな制度を導入し、継続的に制度の充実を図っている。特に介護休職制度は、対象家族のうち一人は3年間の休職を取得することができる制度にしている。2010年10月からは時間単位休暇制度を導入し、より柔軟な働き方を可能にしている。

### ● 戸田建設

この冊子の請求番号 004

子どもを養育する社員が、仕事と育児を両立できるように、育児制度の拡充と利用促進に努めている。短時間勤務制度は、2008年度に4歳未満の子を持つ社員を対象として育児短時間勤務制度を導入。2010年6月からは、最長期間が法定を上回る「小学校3年生修了まで」取得可能とし、2011年度は13名が利用した。

### ● YKKグループ

この冊子の請求番号 016

子育てをしながら長期的なキャリア形成ができるよう、さまざまな制度を設定している。最長で子どもが2歳の誕生日まで利用できる育児休業制度は、年間277名が利用。短時間勤務と時差勤務の対象を小学校低学年の長期休暇中に拡大するなど、継続的な制度・環境づくりに取り組んでいる。

## 福利厚生



- 東京エレクトロン** 勤続10年、15年、20年、25年の節目に、2週間～1カ月の休暇を取得できるリフレッシュ休暇制度を設けている。  
この冊子の請求番号 019
- 東京応化工業** 私傷病の療養により欠勤を余儀なくされた社員について、短期・長期・特別長期の3区分に応じて賃金を補償する療養補償制度を導入している。また、私傷病により1カ月以上連続して休んでいた者が、無理なく職場に復帰できるよう勤務時間を短縮できる、ならし勤務制度を設けている。  
この冊子の請求番号 011
- ミネベア** 従業員がリフレッシュを図れるよう、勤続30年の従業員とその家族をアジア(タイ、中国・上海、シンガポールのうち1カ国)旅行に招待する制度を設けている。利用者は年々増加しており、2011年度は21名が取得した。  
この冊子の請求番号 017

## 時間外労働の管理



- コベルコシステム** 3T(楽しい、短時間、達成感)職場の実現に向け、2011年4月からノー残業デーの全社展開を開始。過去にも人事部門が中心となって推進していたが、かけ声だけで形骸化し長続きしなかった経緯を踏まえ、認知度の向上、運用面での工夫、定着に向けたしなげを実施し、制度が形骸化しないよう取り組んでいる。  
この冊子の請求番号 028
- 日本ハム** 人事労務管理責任者会議において、グループ各社ごとに任命された労働時間改善責任者が、労働時間管理のポイント、過重労働とメンタルヘルス対策などについて学習し、働く環境の向上に努めている。  
この冊子の請求番号 007
- ポリプラスチックス** 社員の心身の健康を守るため、時間外労働時間の管理を徹底している。過度な時間外労働を防止するとともに、一定の時間を超えた社員に対し、産業医などによる問診を義務付けている。  
この冊子の請求番号 012

# CSRレポートを請求して 企業研究を始めよう!!



次ページから掲載しているCSRレポートは、特設サイトまたは挟み込みの専用ハガキでご請求いただけます。請求後、5日前後でお手元にお届けいたします。ご利用はすべて無料ですので、気になる企業のレポートはどんどん請求して企業研究に役立ててください。

請求方法は以下の2つです。

## 1. 特設サイトから請求

<http://www.c.ecohotline.com/>

パソコンからアクセス。詳しくは裏表紙をご覧ください。

## 2. 専用ハガキから請求

挟み込みの専用ハガキに請求番号と必要事項を記入するだけ。

切手は不要。ご請求は何社でも可能です。

(ただし、1種類の冊子につき、1冊までの請求となります)



## 企業一覧の見方

1...企業名 2...レポート名 3...表紙画像 4...内容の要約 5...請求番号



## アンケート キャンペーン実施中

就活やCSRに関するアンケートを行っています。ご回答いただいた方の中から、毎月抽選でQUOカード1,000円分を5名の方にプレゼントいたします。(実施期間:2013年3月末まで)

回答方法はCSRレポートご請求時の専用ハガキ、または特設サイトのアンケート記入欄からご回答いただけます。ぜひご協力ください。

(アンケート内容はP22に掲載)

※当選は発送をもってかえさせていただきます。

## 「CSR就活体験談」募集のご案内

CARECOでは、CSRレポートを就活に生かして内定を決めた学生さんの生の声(150字程度)を募集いたします。皆さんの成功体験談が次の後輩たちの就活にきつと役立つはず。この企画に参加してもいいという学生さんには、2013年5月頃に改めてメールでご連絡させていただきます。ハガキまたは特設サイトの、募集のご案内を希望するに○をつけてください。体験談をお寄せいただいた方の中から抽選で1名様に「iPod shuffle」をプレゼントいたします。



※P6に今年の学生さんの声が掲載されています。



## 企業一覽

掲載している企業の報告書は特設サイトに無料でご請求いただけます。  
ご請求後、約5日程度でお手元にお届けします。

※ 掲載情報は2012年10月1日現在のエコほっとライン上での請求可能企業です。  
アクセス時に在庫冊数の関係で請求ができない場合や発行年度が変更している場合がございます。あらかじめご了承ください。  
※ 送付の際に必要な個人情報はエコほっとラインの個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。

### 竹中工務店

「竹中サステナビリティレポート2012」



「竹中サステナビリティレポート」は、サステナブル社会の構築への貢献を4つの想い「美しい地球を未来の子どもたちに遺す」「地域社会の持続的発展に寄与する」「お客様の信頼を得つづける」「互いに尊重しあい成長しつづける」を軸に、その実現に向けた16の取り組みとそれらを支えるマネジメントの活動を幅広く取り上げ、写真とデータでわかりやすく報告しています。

特集では、震災後、人々の関心が高まっている「安全・安心を支える技術」についての当社の取り組みや、日本の森林・林業を再生する社会のニーズに対応した当社の開発と実プロジェクトへの適用について紹介しています。是非ご高覧いただき、ご意見、ご感想をお寄せください。

この冊子の請求番号 003

### サントリーホールディングス

「サントリーグループ CSRレポート 2012」



「サントリーグループ CSRレポート 2012」は、持続可能な社会の実現に向けて、サントリーグループが果たすべきCSR(企業の社会的責任)に関する考え方や活動を報告するものです。本年度のレポートは、巻頭にてCSRに対する考え方や近年サントリーグループが特に力を入れて推進してきた活動を紹介するとともに、サントリーグループをとりまくさまざまなステークホルダーの方々への責任と行動をご報告しています。WEBでは、冊子よりさらに詳しい情報を掲載するとともに、最新情報やグループ会社の活動、サイトレポート等の情報も掲載しています。

この冊子の請求番号 006

### プリマハム

「社会環境報告書2012」



本年度の報告書作成にあたっては、社会的責任に関する国際規格ISO 26000に記載される7つの中核主題の「関連する行動及び期待」を参考に、プリマハムの事業と社会的責任のかかわりや取り組みの現況について整理を行い、報告すべき重要な事項の検討を行いました。

その結果を踏まえ、報告書の構成をステークホルダー別に整理するとともに、全体を通じて、事業活動と社会・環境課題との関係やプリマハムの姿勢がより理解しやすくなるよう工夫しました。また、経営改善と同時に社会・環境課題の改善についても成果をあげている三重工場の取り組みと、第一線で活躍する女性従業員の姿を特集として取り上げました。

この冊子の請求番号 009

### 熊谷組

「熊谷組グループ CSR報告書2012」



「信頼」、「誠実」、「社員力」の切り口でCSR活動を紹介します。お客様、地域社会との信頼を築くコミュニケーション、誠実なもののづくりのために心がけていること、社員力の充実のために行っていることを紹介。特別報告として「東日本大震災からの復興に向けて」と題し、仙台空港の復旧、夏の節電、放射性物質除染の取り組みなどを紹介。

「ものづくりの現場から」では、現場/パトロールでの意見交換を通じて、熊谷組と協力会社が一丸となってもものづくりに取り組んでいる状況を紹介します。特集では、熊谷組が2002年から継続して実施し、「第2回キャリア教育アワード」優秀賞を受賞した独自の教育支援活動「クマさんの環境教室」の様子を紹介しています。

この冊子の請求番号 001

### 戸田建設

「戸田建設CSRレポート2012 ダイジェスト版」



戸田建設は、CSR(企業の社会的責任)に対する考え方や方針、取り組みをより多くのステークホルダーの皆さまにご理解いただくとともに、CSR活動のさらなる充実を図ることを目的に活動報告を行っています。

2011年度から報告媒体を「冊子」「ウェブサイト」「データシート」に分け、ステークホルダーの皆さまに分かりやすい構成としています。今後とも、皆様とのコミュニケーションをもとにCSR活動をステップアップしてまいりますので、ご高覧の上、ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

この冊子の請求番号 004

### 日本ハム

「社会・環境レポート2012」



日本ハムグループでは、社会・環境への取り組みを皆さまにお伝えするため、年度ごとに活動をまとめたレポートを発行しております。

レポートでは、環境活動・社会活動とともにコーポレートガバナンス・コンプライアンスや商品へのこだわりなど弊社グループの事業活動全般にわたる活動を掲載しております。今後も皆様の声を反映させた、より分かりやすい社会・環境レポートを発行していきたいと考えております。

社会・環境レポート並びに弊社ウェブサイトをご高覧頂き、ご意見、ご感想をお寄せ頂ければ幸いです。

この冊子の請求番号 007

### コニシ

「Konishi Report2012 環境・社会報告書」



当社は化学物質を取り扱う事業を営んでいるため、早くから環境保全、製品安全、保安防災に力を注いできました。

おかげさまで、合成接着剤「ボンデ」は本年発売60周年を迎えました。永きにわたり「ボンデ」ブランドとして愛され、一般家庭用では工作の必需品として地域・社会とコミュニケーションを続けています。その他にも目には見えませんが接着剤の機能はさまざまな形で社会や環境保全に役立っています。

本年は特集でボンデ発売60周年を記念したワークショップイベントの様子をご紹介します。本報告書を通じて当社の活動が皆さまにご理解され、身近に感じていただければ幸いです。

この冊子の請求番号 010

### コムシスホールディングス

「COMSYS Group CSR REPORT 2011」



コムシスグループは、ICTを活用して「人と人、人と社会がより豊かにつながる社会」の実現に向けて事業を展開しています。創業から60年間で培ったICTの分野における独自のノウハウを活かし、「本業」を通して「持続可能な社会づくり」に貢献します。

2011年版のCSRレポートでは、構造改革「グループ・リノベーション2010」の総括とコムシスグループの新たな挑戦をトップコミットメントとして掲載しています。

本レポートを通じて、皆さまにコムシスグループのCSR活動へのご理解を深めていただければ幸いです。

この冊子の請求番号 002

### 三井ホーム

「環境・社会報告書2011 ECO LIFE BY MITSUI HOME」



三井ホームの住まいづくりにおける環境と社会性への考え方と、その対応について紹介しています。環境ビジョン「木の家、暮らしデザイン」宣言に基づき策定した、環境中期計画(エコアクションプラン2016)の初年度として、環境方針の重点テーマ「木資源の活用」「環境性能・価値の創出」「住まいの長寿命化」に対する具体的な目標を掲載しました。環境報告では「木の循環」「環境保全活動」「環境コミュニケーション」などについて、社会性報告では「法令等遵守の徹底とIR活動」「安心できる住まい」「働きやすい環境」などについて掲載しています。これまで継続してきた地道な活動を念頭に、これからも地球環境問題に取り組み、持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

この冊子の請求番号 005

### 不二製油

「不二製油 CSRレポート2012」



不二製油グループのCSRは、企業理念を具現化し、本業を通して食の課題解決に貢献することです。本年度のレポートでは、中期経営計画の基本方針である「グローバル経営」「技術経営」「サステナブル経営」における取り組みについて、特集記事で紹介しています。

活動報告ページでは、CSR活動計画に対する取り組み状況の可視化を目指し、活動実績を中心に掲載しています。また、各分掌役員がコミットメントすることで、目指す姿を明確に示しています。

本レポートを通してステークホルダーの皆様にも不二製油をご理解いただき、双方向のコミュニケーションを通して、「二つとない」価値ある企業を目指します。

この冊子の請求番号 008

### 東京応化工業

「CSRレポート2012」



本レポートは、東京応化グループの社会に対する責任(CSR)についての考え方および環境活動などをステークホルダーの皆様によりわかりやすく伝えるとともに、積極的なコミュニケーションを図るためのツールとして2002年度より毎年発行しています。本年度より、CSR活動への注目の高まりに応えるべく、新たなコンセプトを設定し、タイトルを一新しました。また、当社のwebサイトでは、本レポートに網羅しきれない詳細事項を公開していますので、そちらも併せてご覧ください。今後よりわかりやすく、充実したレポートを目指してまいりますので、皆様からの率直なご意見やご感想をお聞かせいただければ幸いです。

この冊子の請求番号 011

**ポリプラスチックス**  
「環境・社会報告書2012」



ポリプラスチックスグループは、エンジニアリングプラスチックを製造・販売する企業として、地域・社会とのつながりを大事にしながら環境への配慮を強く意識した取り組みを行っています。  
「環境・社会報告書2012」では、当社のCSR活動を中心に、経営理念に基づくコンプライアンスをはじめとしたマネジメント体制の強化などについてまとめています。  
また、本報告書では、生活のあらゆる場面で当社製品が使用されている例を分かりやすくお伝えしているほか、2012年に50周年を迎える当社の50年の歩みを簡単に紹介しています。

この冊子の請求番号 **012**

**田辺三菱製薬**  
「CSR Report 2012」



当社CSRレポートは、患者さん、医療関係者、株主・投資家、地域社会、従業員等、幅広いステークホルダーを対象に、当社グループが2011年度に実施した主なCSR活動についてお知らせするものです。  
報告ページでは、「医薬品の創製を通じて、世界の人々の健康に貢献します」という当社の企業理念に基づいた具体的な取り組みについて、それぞれのテーマごとに紹介しています。また、第三者意見として、関西学院大学商学部教授の阪 智香氏より、このレポート全体をお読みいただいたうえで、外部有識者の視点から当社のCSR活動に対する貴重なご意見を頂戴しました。

この冊子の請求番号 **013**

**中外製薬**  
「社会責任報告書 CSR'11」



中外製薬グループ「社会責任報告書CSR'11(冊子版)」では、当社グループの2011年の主な取り組みを掲載しています。特集では、27年間継続している「在宅福祉移送サービスカーの寄贈事業」について、また、「東日本大震災への対応」では被災地への支援活動等についてご報告しています。より詳細な情報についてはウェブサイトに掲載していますので、あわせてご覧いただき、忌憚の無いご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。

この冊子の請求番号 **014**

**三菱マテリアル**  
「CSR報告書2012」



本報告書では、「特集1. 社会的課題の解決に挑戦する」として、当社グループのサイクル事業が独自の技術・プロセス・ネットワークを活用し、「新たな社会インフラ」として担っている役割をはじめ、東日本大震災復興に向けた震災廃棄物の受け入れや除染事業、また、地熱発電等の「創・蓄・省」各分野でのエネルギー関連技術や製品など、直面するさまざまな「社会的課題解決への挑戦」をテーマに掲載しています。加えて、「特集2. 第3回ステークホルダーミーティング」では、NGO代表者を含む4名の有識者の方々からいただいたご意見の概要を紹介していますので、ぜひ一読の上、忌憚の無いご意見をお寄せいただくようお願い申し上げます。

この冊子の請求番号 **015**

**YKKグループ**  
「YKKグループ 社会・環境報告書2012」



YKKグループの社会・環境報告書は「正直に、誠実に、継続的に」をモットーに2000年より発行しています。幅広いたくさんの方々はこの報告書を通じてYKKグループを知っていただきたいという思いから、冊子版は基本的な考え方とその事例を掲載し、Web版で数値情報などを補完する形態としています。次世代を担う子どもたちが、豊かな自然環境の中で生き生きと育つことを願い、YKKグループでは「自然界との共生」を通じた持続可能な社会の構築を目指し、さまざまな活動を推進しています。  
今年度は、世界各地の地域社会と自然界との共生範囲を広げ持続可能な社会の構築を目指す「YKKグループのモノづくり」を特集として掲載しています。

この冊子の請求番号 **016**

**ミネベア**  
「ミネベアグループ CSRレポート2012」



CSRレポートの発行として3年目となる本年度は、特集として主力製品のボールベアリング事業と、お取引先様を招いて開催したサプライヤー・ダイアログを取り上げています。また昨年主要生産拠点であるタイで発生した洪水における当社グループの被害と対応について報告しています。  
「マネジメント報告」では、昨年定めた2011年度CSR目標に対するレビュー結果に基づき、2012年度CSR目標およびCSR中期目標を新たに策定し、報告しています。  
CSRレポートの発行は、ステークホルダーとのコミュニケーションの一つであると考え、適切で分かりやすい報告を心掛けています。

この冊子の請求番号 **017**

**シスメックス**  
「シスメックスあんしんレポート2012 ダイジェスト版」



本報告書は医療・ヘルスケア分野でグローバルに事業展開するシスメックスのCSR活動についてより多くの方々にご理解いただく目的で発行しております。  
検査を通じ医療に貢献している具体的な活動を掲載し、弊社の健康社会実現に向けた考え方、取り組みを紹介しております。  
今年度より、年度のトピックスを重点的に紹介した「シスメックスあんしんレポート2012 ダイジェスト版」(冊子・PDF版)と、より詳細な情報を掲載した「シスメックスあんしんレポート2012」(PDF版)を発行しています。

この冊子の請求番号 **018**

**東京エレクトロン**  
「環境・社会報告書2012」



今回は、当社グループの事業と社会的責任との関連性をより深く理解していただくことを目的として構成し、さらに、従来の東京エレクトロンの環境コミットメントに基づく環境目標を前倒して達成する見込みであることを受け、新環境ビジョンのもとで新たな目標を設定したことを報告しています。  
皆さまからの忌憚の無いご意見、ご感想を差し込みのアンケート用紙にてお寄せいただければ幸いです。

この冊子の請求番号 **019**

**堀場製作所**  
「Gaiareport2012」



5つの事業部門(自動車・分析・医用・半導体・科学)で展開しているHORIBAの製品・サービスは「環境・健康・安全・エネルギー」と深く関係しています。事業の本流から外れない企業活動が当社グループのCSR活動そのものであり、社会貢献につながるかと考えています。  
CSR報告書「Gaiareport(ガイアレポート)」は、HORIBAのCSR活動のエッセンスを凝縮した冊子版と、詳細データやトピックスを掲載したWEB版の2部構成で、HORIBAのCSRに対する考えや活動の報告をしています。  
多くの皆様にご一読いただき、忌憚の無いご意見やご感想をお寄せいただければ幸いです。

この冊子の請求番号 **020**

**マツダ**  
「マツダ サステナビリティレポート2012」



マツダの6つのCSR取り組み分野である「環境保全」「社会貢献」「人間尊重」「お客さま満足」「コンプライアンス」「情報開示」について、目標や実績を中心に「マツダサステナビリティレポート2012(詳細版)」で報告しています。  
「特集」では、「走る喜び」と「優れた環境・安全性能」を両立した、SKYACTIV技術採用のマツダCX-5について、開発者、お客さまの声を交えて紹介しています。  
「CLOSE-UP」では、3つの重点領域「環境保全」「社会貢献」「人間尊重」について、マツダの姿勢や考え方を中心に、インタビュー形式でお伝えしています。

この冊子の請求番号 **021**

**セイコーインスツル**  
「社会・環境報告書2012」



SIIグループ「社会・環境報告書2012」は、SIIのCSR活動について「SII企業行動憲章」を軸に報告しています。  
SII企業行動憲章の【価値の提供】、【公正・誠実な企業活動】、【人間尊重と人材育成】、【社会との共存】、【環境との調和】で構成し、CSRの考え方や取り組み状況、事例などを盛り込みながらわかり易くお伝えすることを心掛けました。  
【環境との調和】では、SIIのグリーンプロダクトplusについて、その考え方と社会との関わり方とともに製品の事例をご紹介します。是非ご覧ください。

この冊子の請求番号 **022**

**イトーキ**  
「環境・社会報告書2012」



イトーキは、企業コンセプト「New Ud&Eco style(ユードコストスタイル)」を追求し、製品、空間、ソリューションの提案により、ステークホルダーの皆様と感動を分かち合う、「人も生き生き、地球も生き生き」する社会を目指しています。  
冊子版は、森林の保全、オフィスの省エネ、オフィスワーカーの快適性・創造性の向上など、2011年度に力を入れた取組や、事業内容から重要と考えられるテーマを抜粋してまとめました。  
ホームページにはすべての環境・社会活動を掲載しています。併せてご覧ください。

この冊子の請求番号 **023**



**大日本印刷**  
[DNPグループ CSR報告書2012]



DNPでは、CSRを「社会から信頼される企業になる」と定義し、「社会に対して価値を提供する」という企業として最も根源的な責任をきちんと果たすこと、「価値創造のプロセスを公平・公正に遂行すること、さらには、「社会に対して説明責任を果たし、透明性の高い企業になる」ことが重要だと考えています。本報告書では、DNPのCSRを実現するための重点テーマ12項目について、ステークホルダーの皆さまから頂戴したコメントとともに紹介しています。また、環境活動につきましては、「DNPグループ環境報告書2012」(PDF)としてより詳しくまとめたものをDNPのホームページに公開しております。あわせてご活用ください。

この冊子の請求番号 024

**電源開発 (J-POWER)**  
[J-POWERグループ サステナビリティレポート2012]



[J-POWERグループ サステナビリティレポート2012]では、エネルギーと環境の共生をめざすJ-POWERグループの取り組みを「経営編」「社会編」「環境編」の3編にまとめ、特に、企業理念として「日本と世界の持続可能な発展に貢献する」ことを掲げているJ-POWERグループにとって重要なテーマを特集として報告しています。今年度は「ベース電源を担う石炭火力発電」として、我が国電力供給の約3割を担う石炭火力発電に関し、石炭火力発電の真価、当社の技術、世界への展開、技術開発など、石炭火力発電の役割と当社の取り組みを紹介しています。

この冊子の請求番号 025

**東京ガス**  
[Tokyo Gas Today & Tomorrow CSR・会社案内2012]



本冊子は、「CSRの取り組み」と「会社案内」を統合し一冊にまとめたものです。今年度は2011年11月に策定した「チャレンジ2020ビジョン」を特集として取り上げ、「社長インタビュー」の中でビジョン策定の想いとその内容を、そして「お客さまの安全を守る私たちの取り組み」の中で、日ごろの地震防災対策と復旧日数の短縮に向けた取り組みについてご紹介しています。また、当社グループのCSR重点活動である「エネルギーセキュリティの向上」「環境への貢献」「地域社会への貢献」に関するトピックスも掲載しております。なお、詳細情報は、ウェブサイト「東京ガスCSR報告書2012」をご覧ください。

この冊子の請求番号 026

**東京ガス**  
[東京ガスの環境活動2012]



東日本大震災をきっかけとして、我が国のエネルギー需給のあり方が問い直されています。その中で、現在、その環境優位性、供給安定性などから重要なエネルギーと目されるのが天然ガスです。当社グループは、そうした天然ガスを原料とする都市ガスのより一層の普及、高度利用を進め、次世代エネルギーへの扉を開いてまいります。今年度の報告書では、当社グループにて進めております取り組みの最前線を巻頭特集「スマートエネルギーネットワーク」などでわかりやすく解説しております。本冊子を通して、都市ガスの描く未来をぜひ感じ取っていただければと思います。

この冊子の請求番号 027

**コベルコシステム**  
[コベルコシステム CSRレポート2012]



コベルコシステムでは、CSR活動を経営を支える大切な取り組みとして位置づけています。CSR活動の実践と継続こそが、社会からの信頼をいただく道筋と考えています。2010年の初版のCSRレポートでは、従来からの社会的責任を果たすための個々の活動をCSRとして体系化し、2009年までの取り組みを紹介しました。また、2011年版では、ステークホルダーの皆様に対し、コベルコシステムが考えているマテリアリティ(大切に想う気持ち)を整理し、そのメッセージを軸に、主に2010年の取り組みを報告しました。2012年版でも、引き続き、この考え方を踏襲し、2011年の取り組みを中心に報告しています。

この冊子の請求番号 028

**デイリーヤマザキ**  
[社会・環境レポート2012]



デイリーヤマザキは焼きたてパン、できたて弁当を提供する店内調理機能「デイリーホット」でお客様のお役に立つお店づくりを進めています。「社会・環境レポート2012」ではそのデイリーホットについて特集を組んでいます。焼きたてパンが出来るまでの課程、働く女性や高齢者への支援、食の安全・安心への取り組みなどについてご紹介しています。コンビニエンスストアの地域の社会インフラとしての役割がますます大きくなる中、デイリーヤマザキは地域の皆様に信頼される店づくりを目指してまいります。

この冊子の請求番号 029

水産・農林業

建設業



極洋グループ  
[極洋グループ社会・環境報告書2012]



奥村組  
[奥村組CSRレポート2012]



前田建設工業  
[CSR報告書2012]



キュービー  
[社会・環境報告書2012[ハイライト]]



日清オйлグループ  
[日清オイルグループ CSR報告書2012]



マルハニチログループ  
[CSR報告書2012]



積水ハウス  
[Sustainability Report 2012]



三井住友建設  
[CSRレポート2012]



コカ・コーラウエストグループ  
[CSRレポート2012]



日清食品ホールディングス  
[日清食品グループ CSR報告書2012]



サッポロホールディングス  
[サッポログループCSRレポート2012]



日清製粉グループ本社  
[社会・環境レポート2012 結び、つなげる未来]

鉱業



大成建設  
[TAISEI CORPORATE REPORT 2012]



アサヒグループホールディングス  
[アサヒグループCSRコミュニケーションレポート2012]



宝酒造  
[緑字企業報告書2012]



日本コカ・コーラ  
[サステナビリティレポート2012]



国際石油開発帝石  
[Sustainability Report 2012]



千代田化工建設  
[千代田化工建設グループCSR報告書2012]



キッコーマン  
[社会・環境報告書2012]



ニチレイ  
[ニチレイグループCSRレポート2012ダイジェスト版]



日本たばこ産業  
[CSR報告書2012]

食料品



054  
帝人  
[2012年 帝人グループ CSR報告書]



058  
王子製紙グループ  
[企業行動報告書2011]



062  
旭化成  
[CSRレポート2012]



067  
サラヤ  
[環境レポート2012]



072  
第一工業製薬  
[環境・社会活動報告書2012]



077  
バイエル  
[持続可能な発展報告書2011 [英語]]



081  
アステラス製薬  
[アニュアルレポート 2012]



086  
日本製薬工業協会  
[環境報告書2011]



090  
コスモ石油  
[コスモ石油グループコーポレートレポート2012]



051  
ハウス食品  
[私たちのCSR 2012]



055  
東洋紡  
[東洋紡グループCSR報告書2012]



059  
日本製紙グループ本社  
[CSR報告書2011 ハイライト版]



063  
ADEKA  
[ADEKAグループ CSRレポート2012]



068  
三洋化成工業  
[三洋化成CSRレポート2012]



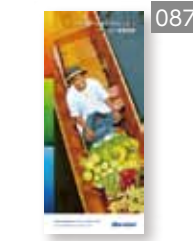
073  
東洋インキグループ  
[社会・環境活動報告書2011]



078  
藤倉化成  
[環境・安全報告書2011]



082  
協和発酵キリングループ  
[協和発酵キリングループ CSRレポート2012]



087  
バクスター  
[バクスターのサステナビリティ 2011年報告書]



091  
昭和シェル石油  
[昭和シェル石油株式会社 コーポレートレポート2012]

繊維製品



056  
東レグループ  
[東レグループCSRレポート 2012]



060  
レンゴー  
[環境・社会報告書2012]



064  
宇部興産  
[UBEグループ CSR報告書2012]



069  
JSR  
[JSRグループ CSR Report 2012]



074  
トクヤマ  
[CSR報告書2012]



079  
マンダム  
[特別レポート2012 マンダムの社会・環境活動について]



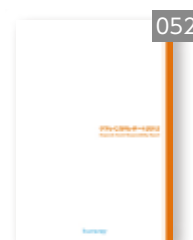
083  
第一三共  
[CSRレポート2012]



088  
ファイザー  
[ファイザー企業市民レポート2011]



092  
朝日ラバー  
[環境・社会活動報告書2012]



052  
クラレ  
[クラレ CSRレポート2012]

パルプ・紙



化学



065  
カネカ  
[カネカCSRレポート2012]



070  
昭和電工  
[別冊] 昭和電工CSRレポート2012]



075  
日油  
[環境報告書2011]

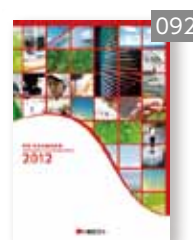


080  
ユニ・チャーム  
[CSR報告書2012]



084  
ツムラ  
[CSRレポート ツムラ環境・社会活動報告書2012]

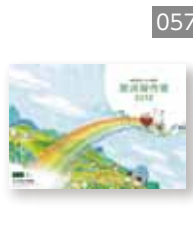
石油・石炭製品



092  
朝日ラバー  
[環境・社会活動報告書2012]



053  
グンゼ  
[グンゼグループCSR報告書2012]



057  
イムラ封筒  
[株式会社イムラ封筒 環境報告書 2012]



061  
アイカ工業  
[アイカグループ社会環境報告書2012]



066  
サカタインクス  
[社会・環境報告書2012]



071  
積水化学工業  
[CSRレポート2012]



076  
日本化薬グループ  
[日本化薬グループCSRレポート2012(ダイジェスト)]



085  
日本新薬  
[日本新薬レポート2012]



089  
出光グループ  
[出光グループ CSRレポート2011]



093  
住友ゴム工業  
[CSR報告書2012]

医薬品



化学 / 医薬品 / 石油・石炭製品 / ゴム製品

食料品 / 繊維製品 / パルプ・紙 / 化学





ブリヂストン  
[ブリヂストングループCSRレポート2012]



横浜ゴム  
[CSR REPORT 2012]



太平洋セメント  
[CSRレポート2012]



TOTO  
[TOTOグループコーポレートレポート2012]



日本ガイシ  
[日本ガイシ CSRレポート2012]



神戸製鋼グループ  
[神戸製鋼グループ 環境・社会報告書 2012]



日立金属  
[日立金属グループ 2012 CSR報告書 ダイジェスト版]



アーレスティ  
[環境・社会報告書2012]



東洋製罐  
[社会・環境報告書2012]



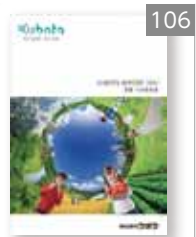
ノーリツ  
[環境社会報告書2012]



リンナイ  
[CSRレポート2012]



IHI  
[IHI CSR REPORT 2012]



クボタ  
[KUBOTA REPORT 2012-事業・CSR報告書]



コマツ  
[KOMATSU CSR & Environmental Report 2012]



ダイキン工業  
[CSR報告書2012]



ダイヘングループ  
[CSR報告書2012]



タクマ  
[会社案内 CSR報告書2012]



椿本チエイン  
[つばきグループコーポレートレポート2012]



日本精工  
[CSRレポート2011]



プラザグループ  
[プラザグループ会社案内 2012]



三菱重工  
[CSRレポート2012(社会・環境報告書)ダイジェスト]



アズビル  
[azbilグループ企業活動報告書 azbil report 2012]



エスペック  
[CSRレポート2012]



NEC  
[CSRダイジェスト2012]



JVCケンウッド  
[JVCケンウッドグループ 社会・環境報告書2012]



日立グループ  
[日立グループサステナビリティレポート2012(ダイジェスト)]



富士通グループ  
[富士通グループ 社会・環境報告書2012]



日立グループ  
[環境レポート2012]



富士ゼロックス  
[サステナビリティレポート2012]



富士通グループ  
[富士通グループ 社会・環境報告書2012]



三菱ふそうトラック・バス  
[環境・社会報告書2012]



ローム  
[ROHM Group Innovation Report 2012]



シチズンホールディングス  
[シチズングループ CSR報告書2012]



日本車輜製造  
[社会・環境報告書2012]



三菱自動車工業  
[社会・環境報告書2012]



三菱ふそうトラック・バス  
[環境・社会報告書2012]



シチズンホールディングス  
[シチズングループ CSR報告書2012]



セイコーホールディングス  
[コーポレートレポート2011 130年の挑戦がひらく未来]



ニコン  
[ニコンCSR報告書2012 ダイジェスト]



日本IBM  
[日本IBM コーポレート・レスポンス・レポート2012]




アシックス  
[ASICS CSR Report 2012]

ゴム製品 / ガラス・土石製品 / 鉄鋼 / 非鉄金属 / 金属製品 / 機械 / 電気機器 / 輸送用機器 / 精密機器 / その他製品

機械 / 電気機器 / 輸送用機器 / 精密機器 / その他製品

その他製品



電気・ガス業



陸運業



146  
東京メトロ  
[安全報告書2012]



海運業



154  
ANAグループ  
[アニュアルレポート2012]



158  
NTTグループ  
[NTTグループ CSR報告書2012]



163  
東芝ソリューショングループ  
[CSRレポート2012]



167  
東邦ホールディングス  
[CSR報告書2011]



171  
イズミヤ  
[イズミヤ社会・環境活動レポート2012]



134  
岡村製作所  
[持続可能な社会をめざして 2012]



138  
大阪ガス  
[大阪ガスグループ CSRレポート2012]



142  
京王電鉄  
[安全・社会・環境報告書2012 CSRレポート]



147  
南海電気鉄道  
[CSR報告書2012 ダイジェスト版]



151  
飯野海運  
[経営報告書2012]




155  
関西国際空港  
[関西国際空港 CSR報告書2012]



159  
NTTデータグループ  
[NTTデータグループCSR報告書2012]



卸売業



168  
日立ハイテクノロジーズ  
[CSR報告書2012 ダイジェスト版]



172  
平和堂  
[平和堂CSR報告書2012]



135  
大建工業  
[CSR報告書 2012]



139  
関西電力  
[CSRレポート2012]



143  
京阪電気鉄道  
[CSR報告書2012]




148  
西日本鉄道  
[CSRレポート2012 安全・社会・環境報告書]



152  
川崎汽船グループ  
[社会・環境レポート2012]



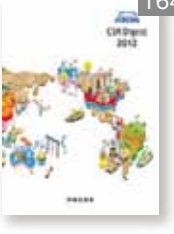
156  
成田国際空港  
[環境報告書2011]



160  
NTTドコモグループ  
[NTTドコモグループCSRレポート2011]




164  
伊藤忠商事  
[伊藤忠商事 CSR Digest 2012]



169  
丸紅  
[丸紅株式会社CSR Report2012]



173  
ミニストップ  
[ミニストップ(CSRレポート2012)]



136  
パンダインコムホールディングス  
[Fun for the future!  
パンダインコムグループのCSR活動報告2012]



140  
中国電力  
[2012エネルギーグループCSR報告書]



144  
JR東日本グループ  
[JR東日本グループ 社会環境報告書2011]



149  
西日本旅客鉄道 (JR西日本)  
[企業活動報告書2011]



153  
日本郵船グループ  
[日本郵船グループ CSRレポート2012]



情報・通信業



161  
NTT東日本グループ  
[CSR報告書2012 ダイジェスト版]



165  
加藤産業  
[環境・社会報告書2012]



170  
LIXILグループ  
[サステナビリティレポート2012]



銀行業



137  
ヤマハ  
[CSRレポート2012]



141  
東邦ガス  
[環境・社会報告書2011]



145  
東京メトロ  
[社会環境報告書2012]



150  
ヤマトホールディングス  
[ヤマトグループ CSR報告書2012]



空運業



157  
伊藤忠テクノソリューションズ(CTC)  
[CTCグループ CSRレポート2012]




162  
KDDI  
[CSR & アニュアルレポート2012]



166  
住友商事  
[社会と環境に関するレポート2011]



小売業



174  
りそなホールディングス  
[RESONA WAY~CSR Report2011(ハイライト集)~]




その他製品 / 電気・ガス業 / 陸運業 / 海運業

空運業 / 情報・通信業 / 卸売業 / 小売業 / 銀行業



証券・商品先物取引・保険業



179  
日本興亜損害保険  
[日本興亜保険グループCSRレポート2011]



不動産業



186  
日本マイクロソフト  
[企業市民活動レポート2011]



191  
吉野家ホールディングス  
[CSR報告書2012]



175  
SMBC日興証券  
[CSR REPORT 2012]



180  
三井生命  
[三井生命CSRレポート2012]



183  
ヒューリック  
[CSR REPORT 2012]



187  
任天堂  
[CSRレポート2012]



192  
リリーフ  
[CSR報告書2011]



176  
第一生命保険  
[「第一生命の絆」報告書・CSRレポート2012]



その他金融業




サービス業



188  
日立システムズ  
[日立システムズグループCSR報告書2012]



その他




177  
太陽生命保険  
[太陽生命コミュニケーションレポート2012]



181  
昭和リース  
[環境社会報告書2012]



184  
関西電気保安協会  
[CSR活動レポート2012]




189  
日立ソリューションズ  
[日立ソリューションズCSR報告書2012]



193  
朝日新聞社  
[読者とともに 朝日新聞社CSR報告書・会社案内2012]



178  
T&D保険グループ  
[T&D保険グループCSRレポート2012]



182  
芙蓉総合リース  
[CSR報告書2011]



185  
西日本高速道路(NEXCO西日本)  
[NEXCO西日本グループコミュニケーションレポート2012]



190  
ベネッセホールディングス  
[ベネッセグループCSR&サステナビリティ報告書 BENESSE REPORT 2012]



194  
エア・ウォーター  
[環境・社会報告書2011]



## PDFダウンロード企業

こちらに掲載している報告書はPDFファイル形式のみでの発行となります。閲覧をご希望の方は、CARECO特設サイト、または各企業のホームページにて直接ダウンロードしてください。

※ CARECO特設サイトでダウンロードする際は、簡易アンケートにご協力ください。  
※ PDFファイルをご覧いただくには、Adobe社のAdobe Readerが必要になります。Adobe社ウェブサイトから最新のAdobe Reader(無料)をお使いのパソコンにインストールしてください。

メロディアン  
[環境のあゆみ2012]




三井物産  
[三井物産CSRレポート2012詳細版]



広友ホールディングス  
[広友グループ環境報告書2012]




卸売業



三菱商事  
[サステナビリティレポート2010]



その他



食料品



味の素  
[味の素グループCSRレポート2011]



双日  
[アニマルレポート2012(2012年3月期)]



サービス業



HTB 北海道テレビ  
[地域メディア報告書「エミル」チカラ伝レポート2012]



## CARECO読者アンケート(専用ハガキ用)

Q1. 就活で企業を選ぶ際、何を重視しますか?以下のa~lの中から3つまでお選びください。  
a.業種 b.職種 c.企業の規模 d.企業の知名度 e.給与等の条件面 f.福利厚生 g.人材教育・研修制度  
h.ワーク・ライフ・バランス i.多様性の配慮 j.親・友人・知人の推薦 k.やりがい l.その他

Q2. これまでにCSRレポートを読んだことはありましたか?以下のa~cのうち1つお選びください。  
a.読んだことがある b.読んだことはないが、レポートのことは知っていた c.読んだこともないし、レポートそのものも知らなかった

Q3. CSRレポートを読む目的は何ですか?以下のa~eのうち1つお選びください。  
a.企業研究に役立つと考えたから b.業界研究に役立つと考えたから c.面接対策に役立つと考えたから  
d.企業の環境配慮や社会貢献活動に興味があったから e.その他

Q4. 『CARECO』の誌面で役に立った企画・記事はありましたか?各記事ごとに5段階で評価して下さい。  
4-1. 巻頭インタビュー 4-2. 特集『そもそもCSRって何?/CSRレポートで何がわかるの?/CSR就活体験談』  
4-3. 特集『CSRレポートのココに注目!(従業員ページ編)』 4-4. 企業一覧

[選択肢] a.とても役に立った b.少し役に立った c.普通 d.あまり役に立たなかった e.まったく役に立たなかった

Q5. 『CARECO』で今後読んでみたい企画・記事や要望はありますか?ありましたら自由記述欄にお書きください。